

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 H組～ E組

使用教科書：（高等学校 改訂版新公共（第一学習社））

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論および倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。
- 【学びに向かう力、人間性等】 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

科目 公共 の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|--|---|
| 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。 | 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 | よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間として在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|--|---|---|---|---|---|----------|
| <p>社会に生きる私たち</p> <p>【知識及び技能】 青年期を生きる私たちが何を考え行動すればよいのか、また、青年期の課題を理解させる。伝統や文化などにふれ、自らの行動様式や考え方の関係について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分自身が公共的な空間を作り出す一員である自覚を深めるとともに、他者と協働して社会を作り出すことの意義について多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間を作る私たちについて、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p> | <p>・指導事項 ①社会に生きる私たち ②個人の尊厳と自主・自律 ③多様性と共通性 ・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等</p> | <p>【知識・技能】 青年期を生きる私たちが何を考え行動すればよいのか、また、青年期の課題を理解している。伝統や文化などにふれ、自らの行動様式や考え方の関係について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 自分自身が公共的な空間を作り出す一員である自覚を深めるとともに、他者と協働して社会を作り出すことの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間を作る私たちについて、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 8 |
| <p>公共的な空間における人間としてのあり方生き方</p> <p>【知識及び技能】 先人の取り組みや知恵などをふまえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 先人の取り組みや知恵などをふまえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解させる。先人の取り組みや知恵などをふまえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間を作る人間としての在り方生き方について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p> | <p>・指導事項 ①選択・判断の手がかりとなる考え方 将来世代に受け渡したい環境 生命倫理をめぐる問題 ・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等</p> | <p>【知識・技能】 先人の取り組みや知恵などをふまえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 選択・判断するための手掛かりとなる考え方を活用し、環境保護や生命倫理などの問題に関して、諸資料を適切に読み取り、必要な情報を活用して、人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間を作る人間としての在り方生き方について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 8 |
| <p>1 学 期</p> <p>定期考査</p> <p>公共的な空間における基本的原理</p> <p>【知識及び技能】 人権保障のあゆみや世界の政治体制、日本国憲法などを通して、公共的な空間における基本的原理が、現代社会でどのような形で生かされているかを理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 諸資料を適切に読み取り、必要な情報を活用して、公共的な空間における基本的原理を踏まえ、個人と社会との関係を多面的、多角的に考察、構想させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における基本原理について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p> | <p>・指導事項 ①人間の尊厳と平等 ②私たちと政治・法の支配と立憲主義 ③私はどこまで自由か ④大日本帝国憲法と日本国憲法・憲法に生きる基本的原理 ・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等</p> | <p>【知識・技能】 人権保障のあゆみや世界の政治体制、日本国憲法などを通して、公共的な空間における基本的原理が、現代社会でどのような形で生かされているか理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 具体的な事例を通して、諸資料を適切に読み取り、必要な情報を活用して、公共的な空間における基本的原理を踏まえ、個人と社会との関係を多面的、多角的に考察、構想している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における基本原理について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p> | ○ | ○ | | 1 |
| | | | ○ | ○ | ○ | 5 |

| | | | | | | | |
|---------|--|--|---|---|---|---|----|
| | <p>法的な主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】 法や規範の意義や作る際の配慮すべきこと、日本国憲法の権利と現実の課題、契約や消費者の権利と責任、紛争を法にもとづいて公正に解決するしくみについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 身の回りの偏見・差別や消費者の権利・義務などに関する問題について、具体的事例を通して、多様な多面的・多角的に考察し、その解決策を検討し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現実社会の諸課題について、特に法的な分野の内容に関係する、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p> | <p>・指導事項 主題1 法や規範の意義と役割 ①私たちと法 ②法と基本的人権 ③自由に生きる権利と法・規範 ④平等に生きる権利と法・規範 ⑤安全で豊かに生きる権利と法・規範 ⑥法をよりよいものにするための権利</p> <p>主題2 契約と消費者の権利・責任 ①さまざまな契約と法 ②消費者の権利と責任</p> <p>主題3 司法参加の意義 ①司法権の独立 ②国民の司法参加</p> <p>・教材 教科書、プリント、ワークシート 一人1台端末の活用 等</p> | <p>法的な主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】 法や規範の意義や作る際の配慮すべきこと、日本国憲法の権利と現実の課題、契約や消費者の権利と責任、紛争を法にもとづいて公正に解決するしくみについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 身の回りの偏見・差別や消費者の権利・義務などに関する問題について、具体的事例を通して、多様な多面的・多角的に考察し、その解決策を検討し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に法的な分野の内容に関係する、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 12 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 2 学期 | <p>政治的な主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】 選挙の意義や課題、国民と国会・内閣の関係、地域社会へのかかわりについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 選挙の課題や自治体が抱える課題について、適切に情報を収集し、課題の解決の在り方について考察、構想させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 民主自治を推進するために果たすべき責任を考え、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決する必要性に気づかせる。</p> | <p>・指導事項 主題4 政治参加と公正な世論形成 ①私たちと選挙 ②選挙の現状と課題 ③世論の形成と政治参加 ④国会と立法 ⑤内閣と行政 ⑥地方自治と住民福祉</p> <p>・教材 教科書、プリント、ワークシート 一人1台端末の活用 等</p> | <p>【知識・技能】 選挙の意義や課題、国民と国会・内閣の関係、地域社会へのかかわりについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 選挙の課題や自治体が抱える課題について、適切に情報を収集し、課題の解決の在り方について考察、構想させる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 民主自治を推進するために果たすべき責任を考え、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決する必要性に気づかせる。</p> | ○ | ○ | ○ | 12 |
| | <p>政治的な主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】 国際社会の成り立ちや領土問題、日本の平和主義と安全保障の変容、今日の国際社会の特徴と地位紛争の背景を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 国際平和の実現に向け、軍縮のために国際社会や私たちに何が必要か、また、国際社会における日本の役割について考え、適切に表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現実社会の諸課題について、特に国際平和や日本の安全保障の問題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決する必要性に気付かせる。</p> | <p>・指導事項 主題5 国際社会と国家主権 ①国家と国際法 ②国境と領土問題 ③国際連合の役割と課題</p> <p>主題6 日本の安全保障と防衛 ①平和主義と安全保障 ②日本の安全保障の変容 ③核兵器の廃絶と国際平和</p> <p>主題7 国際社会の変化と日本の役割 ①今日の国際社会 ②人種・民族問題と地域紛争 ③国際社会における日本の役割</p> <p>・教材 教科書、プリント、ワークシート 一人1台端末の活用 等</p> | <p>【知識・技能】 国際社会の成り立ちや領土問題、日本の平和主義と安全保障の変容、今日の国際社会の特徴と地位紛争の背景を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 国際平和の実現に向け、軍縮のために国際社会や私たちに何が必要か、また、国際社会における日本の役割について考え、適切に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に国際平和や日本の安全保障の問題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決する必要性に気付いている。</p> | ○ | ○ | ○ | 11 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | <p>経済的な主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】 経済の基本的なしくみや労働者を守りための法や権利、日本経済のあゆみと情報化の進展について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 少子高齢化やグローバル化が進む現代社会における将来の働き方や現在の労働問題について考察し、課題と解決策を考え、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現実社会の諸課題について、特に経済分野についてよりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p> | <p>・指導事項 主題8 雇用と労働問題 ①私たちと経済 ②労働者と権利 ③労働環境と課題</p> <p>主題9 社会の変化と職業観 ①日本経済のこれまでとこれから ②技術革新の進展 ③現代の企業 ④中小企業の現状と役割 ⑤日本の農林水産業</p> <p>・教材 教科書、プリント、ワークシート 一人1台端末の活用 等</p> | <p>【知識・技能】 経済の基本的なしくみや労働者を守りための法や権利、日本経済のあゆみと情報化の進展について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 少子高齢化やグローバル化が進む現代社会における将来の働き方や現在の労働問題について考察し、課題と解決策を考え、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に経済分野についてよりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | <p>経済的な主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】 市場経済のしくみと市場の失敗、景気変動、金融市場の役割と意義、財政や社会保障のしくみや課題を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 市場の失敗の具体的な事例をふまえて、その対応策を検討し、表現させる。</p> <p>日本の財政の課題について考え、少子高齢化が進む中で持続可能なもの</p> | <p>・指導事項 主題10 市場経済の機能と限界 ①市場経済と経済運営 ②市場のしくみ ③経済発展と環境保全 ④国民所得と私たちの生活 ⑤経済成長と国民の福祉</p> <p>主題11 金融のはたらき ①金融の意義と役割 ②金融のいま</p> <p>主題12 財政の役割と社会保障</p> | <p>【知識・技能】 市場経済のしくみと市場の失敗、景気変動、金融市場の役割と意義、財政や社会保障のしくみや課題を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 市場の失敗の具体的な事例をふまえて、その対応策を検討し、表現させる。</p> <p>日本の財政の課題について考え、少子高齢化が進む中で持続可能なものにするためにどうすべきかを検討し、構想している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> | ○ | ○ | ○ | 16 |

| | | | | | | | |
|-------------|---|---|---|---|---|-----|----|
| 3 学 期 | <p>持続可能な社会づくりに取り組むことについて、特に経済分野についてよりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現実社会の諸課題について、特に経済分野についてよりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p> | <p>土曜14 財政の役割と社会保障 ①財政のしくみと租税 ②日本の財政の課題 ③社会保障と国民福祉 ④これからの社会保障</p> <p>・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等</p> | <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に経済分野についてよりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p> | | | | |
| | <p>経済的な主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】 自由貿易を進めるための国際機関の機能と役割や経済のグローバル化が日本経済に与える影響、地域経済統合のメリットとデメリットについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域的経済統合のメリット、デメリットから日本の貿易政策がどうあるべきかを検討し、適切に表現させる。 発展途上国の経済成長のために国際社会や日本がすべきことを考え、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現実社会の諸課題について、特に地球環境問題や資源・エネルギー問題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p> | <p>・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等</p> | <p>【知識・技能】 自由貿易を進めるための国際機関の機能と役割や経済のグローバル化が日本経済に与える影響、地域経済統合のメリットとデメリットについて理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 地域的経済統合のメリット、デメリットから日本の貿易政策がどうあるべきかを検討し、適切に表現している。 発展途上国の経済成長のために国際社会や日本がすべきことを考え、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に地球環境問題や資源・エネルギー問題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 11 |
| | <p>持続可能な社会づくりの主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】 持続可能な社会づくりに向けて、地球温暖化や資源・エネルギー問題、生命倫理、情報、国際社会の課題などの諸課題について、教科書記載の資料およびそのほかの資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 持続可能な社会づくりに向けて、課題を見だし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 持続可能な社会の形成に関する関心を高め、それを意欲的に追究し、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察しようとする。</p> | <p>・指導事項 ①排出権取引を考える ～地球環境問題 ②ベストミックスを考える ～資源・エネルギー問題 ③ゲノム編集を考える ～生命倫理 ④インターネットによる投票を考える ～情報 ⑤フェアトレードを考える ～国際社会の課題</p> <p>・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等</p> | <p>【知識・技能】 教科書記載の資料およびそのほかの資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>【思考・判断・表現】 持続可能な社会づくりに向けて、課題を見だし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述させる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 持続可能な社会の形成に関する関心を高め、それを意欲的に追究し、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察している。</p> | ○ | ○ | ○ | 9 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 | |
| | | | | | | 合計 | |
| | | | | | | 105 | |

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 1 学年 H 組～ E 組
 使用教科書： (Standard 数学 I 東京書籍)
 教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質やほかの事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。

科目 数学 I の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|--|
| 数と式と2次関数についての基本的な概念や、原理、法則を体系的に理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 | 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表・式、グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付ける。 | 数学の良さを認識し、数学を活用しようとする態度や、問題解決の過程を振り返り粘り強く評価改善したりする態度を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|-------------|---|--|--|---|---|---|----------|
| | | | | | | | |
| 1 学 期 | 数と式 【知識及び技能】 指数の計算や因数分解について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な問題に対してその過程を振り返り、問題に粘り強く取り組む。 定期考査 | ・指導事項 単項式・多項式・指数法則・乗法法則・展開・降べきの順・昇べきの順・因数分解・たすき掛け ・教材 教科書・教科書傍用問題集 プリント等 ・一人1台端末の活用 GeoGebra等 | 【知識・技能】 2次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算をすることができる。 【思考・判断・表現】 問題を解決する際にすでに学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決の過程を振り返り、粘り強く取り組むことができる。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| | | | | ○ | ○ | | 1 |
| | 数と式 【知識及び技能】 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 無理数の意味を理解し、絶対値の意味を考え活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な問題に対してその過程を振り返り、問題に粘り強く取り組む。 定期考査 | ・指導事項 正の整数・自然数・負の整数・有理数・有限小数・無限小数・無理数・数直線・絶対値・平方根・根号 ・教材 教科書・教科書傍用問題集 プリント等 ・一人1台端末の活用 GeoGebra等 | 【知識・技能】 数を実数まで拡張する意義を理解するとともに、簡単な無理数の計算をすることができる。 【思考・判断・表現】 問題を解決する際にすでに学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 | ○ | ○ | ○ | 12 |
| | | | ○ | ○ | | 1 | |
| 2 学 期 | 2次関数 【知識及び技能】 2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数の値の変化やグラフの関係を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な問題に対してその過程を振り返り取り組む。 定期考査 | ・指導事項 2次関数・平行移動・放物線・軸・頂点・上に凸・下に凸・ $y=ax^2$ のグラフ・ $y=ax^2+q$ のグラフ・ $y=a(x-p)^2$ のグラフ・ $y=a(x-p)^2+q$ のグラフ・平方完成 ・教材 教科書・教科書傍用問題集 プリント等 ・一人1台端末の活用 | 【知識・技能】 2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解することができる。 【思考・判断・表現】 2次関数のグラフの特徴や関係について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決の過程を振り返り、粘り強く取り組むことができる。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| | | | | ○ | ○ | | 1 |
| | 2次関数 【知識及び技能】 2次関数の最大値・最小値を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数の値の変化やグラフを用いて最大値・最小値を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な問題に対してその過程を振り返り取り組む。 定期考査 | ・指導事項 2次関数の最大値・最小値関数の定義域・値域・定義域が限られた時の最大値・最小値・2次関数の決定 ・教材 教科書・教科書傍用問題集 プリント等 ・一人1台端末の活用 | 【知識・技能】 2次関数の最大値・最小値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 コンピュータを用いてグラフを書き、2次関数の最大値・最小値について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を2次関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき考察しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 15 |
| | | | ○ | ○ | | 1 | |
| 3 学 期 | 2次関数 【知識及び技能】 2次方程式の解と2次関数のグラフの関係について理解し、2次不等式の解を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象同士の関係を考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な問題に対してその過程を振り返り、問題に粘り強く取り組む。 定期考査 | ・指導事項 実数解・2次関数のグラフとx軸の共有点・判別式・重解・実数解の個数・2次不等式・連立2次不等式 ・教材 教科書・教科書傍用問題集 プリント等 ・一人1台端末の活用 | 【知識・技能】 2次方程式の解と2次関数のグラフの関係について理解することができる。 2次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 グラフと2次不等式の関係に着目し解を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決の過程を振り返り、評価・改善しようすることができる。 | ○ | ○ | ○ | 18 |
| | | | | ○ | ○ | | 1 |
| | | | | ○ | ○ | | 合計 70 |

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 理科 科目 科学と人間生活(生物・化学分野)

教科：理科 科目：科学と人間生活(生物・化学分野) 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 H組～E組

使用教科書：(科人007-901 「科学と人間生活新訂版」 実教出版、「アクセスノート科学と人間生活改訂版」 実教出版

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事象・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

科目 科学と人間生活(生物・化学分野) の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|--|--|
| 自然と人間生活との関わりおよび科学技術と人間生活との関わりについて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付けている。 | 人間生活と関連のある自然の事象や現象の中に問題を見出し、見通しをもって実験・観察・調査などを行うとともに、ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより、総合的に判断し、それを表現することができる。 | 自然の事象・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度が養われている。自然の原理・法則や科学技術の発展と人間生活との関わりについて社会が発展するための基盤となる科学に対する興味・関心を高めている。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|---------|------------------------|--|---|---|---|---|----------|
| 1 学期 | 熱の性質とその利用の理解 | 1. 熱とは 特集 熱の遮断 2. 熱運動 | 【知識・技能】 ・様々な熱の存在や働き、自然界での役割について得た知識を、人間生活と関連づけて理解できる。(定期考査) 【思考・判断・表現】 ・熱の存在や働きについて、実験を通して考察し、表現することができる。(課題提出) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・熱の存在や自然界における役割について関心を持ち、意欲的に学習しようとする。(授業態度) | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | 光の性質とその利用に関する具体的な事項の理解 | 1. 光の性質 2. 医療への応用 3. 自然界での様々な作用 | 【知識・技能】 ・光の基本的な性質、自然界での性状について得た知識を、人間生活と関連づけて理解できる。(定期考査) 【思考・判断・表現】 ・光の性質についての実験などを通じ、観察・実験技能を身につけるとともに、結果や考察を的確に表現することができる。(課題提出) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・光や電磁波と人間生活の関わりについて関心を持ち、意欲的に学習しようとする。(授業態度) | ○ | ○ | ○ | 6 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 | |
| 2 学期 | 太陽系の諸天体に関する知識を深める | 1. 惑星について 2. 内惑星 | 【知識・技能】 ・惑星についてその基本的性質や運動の様態について理解している。(定期考査) 【思考・判断・表現】 ・岩石惑星の性質について考え、表現することができる。(発問評価) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・私たちの生活に役立て身近に観察可能な惑星について、どのような性質が挙げられるかを学び、さらによりよい生活のために意欲的に学習しようとする。(授業態度) | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | 太陽系の諸天体に関する知識を深める | 3. 外惑星 4. 小惑星 特集 潮汐 | 【知識・技能】 ・外惑星についての基本的運動や性質について理解している。(定期考査) 【思考・判断・表現】 ・天体が日常生活の中でどのような影響を与えているかを考え、表現することができる。(発問評価) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・私たちの生活に役立っている天体の諸性質について、どのような利用がなされているかを学び、さらによりよい生活のために意欲的に学習しようとする。(授業態度) | ○ | ○ | ○ | 6 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 | |
| 3 学期 | 太陽放射、大気、海洋 | 1. いろいろな天体 特集 いろいろな天体に関する理解 2. 彗星の発見 3. 天体運動と日常生活 4. 医療への微生物の利用 3. 生態系での微生物 | 【知識・技能】 ・太陽放射の性質を理解するとともに、エネルギーの収支によってつくられる生態系や環境の安定性を理解している。(定期考査) 【思考・判断・表現】 ・地球の内部エネルギーがどのように生態系や環境の安定性にかかわっているか観察や説明を通して説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・(授業態度) ・地球や太陽系の人との関わりについて関心を持ち、意欲的に学習しようとする。(授業態度) | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 理科 科目 科学と人間生活(生物・化学分野)

教科：理科 科目：科学と人間生活(生物・化学分野) 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 H組～E組

使用教科書：(科人007-901 「科学と人間生活新訂版」 実教出版、「アクセスノート科学と人間生活改訂版」 実教出版

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事象・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

科目 科学と人間生活(生物・化学分野) の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|--|--|
| 自然と人間生活との関わりおよび科学技術と人間生活との関わりについて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付けている。 | 人間生活と関連のある自然の事象や現象の中に問題を見出し、見通しをもって実験・観察・調査などを行うとともに、ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより、総合的に判断し、それを表現することができる。 | 自然の事象・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度が養われている。自然の原理・法則や科学技術の発展と人間生活との関わりについて社会が発展するための基盤となる科学に対する興味・関心を高めている。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|---------|---|--|--|---|---|---|----------|
| 1 学期 | 3章 生命の科学 2節 微生物とその利用 発酵食品に関わる微生物の働きを具体的に説明できる。 微生物が自然や生活でどんな役割をしているかを理解する。 病気を防ぐための衛生の大切さを理解し、実生活に活かせる。 | 1. いろいろな微生物 特集 いろいろな微生物のなかま 2. 微生物の発見 | 【知識・技能】 ・様々な微生物の存在や働き、生態系での役割について得た知識を、人間生活と関連づけて理解できる。(定期考査) 【思考・判断・表現】 ・微生物の存在や働きについて、実験を通して考察し、表現することができる。(課題提出) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・微生物の存在や生態系における役割について関心を持つ | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | 3章 生命の科学 2節 微生物とその利用 発酵食品に関わる微生物の働きを具体的に説明できる。 微生物が自然や生活でどんな役割をしているかを理解する。 病気を防ぐための衛生の大切さを理解し、実生活に活かせる。 | 3. 食品への微生物の利用 4. 医療への微生物の利用 3. 生態系での微生物 | 【知識・技能】 ・様々な微生物の存在や働き、生態系での役割について得た知識を、人間生活と関連づけて理解できる。(定期考査) 【思考・判断・表現】 ・発酵における微生物の働きについての実験などを通して、観察・実験技能を身に付けるとともに、結果や考察を的確に表現することができる。(課題提出) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・微生物と人間生活の関わりについて関心を持ち、意欲的に学習しようとする。(授業態度) | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 2 学期 | 2章 物質の科学 1節 材料とその再利用 金属の特徴(展性、導電性、酸化など)やプラスチックの種類と性質を、実験や身近な製品を通して具体的に理解する。 | 1. 生活の中のさまざまな物質 2. 金属 | 【知識・技能】 ・身の回りの金属についてその製造法や資源の再利用について理解している。(定期考査) 【思考・判断・表現】 ・天然にある素材と人工的に作り出した素材が日常生活の中でどのように使われているかを考え、表現することができる。(発問評価) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・私たちの生活に役立っている金属について、どのような性質が製品として利用されているかを学び、さらによりよい生活のために改良すべき点はないか意欲的に学習しようとする。(授業態度) | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | 2章 物質の科学 1節 材料とその再利用 使用済みプラスチックや金属製品のリサイクル方法を説明し、リサイクルが環境負荷低減にどのように寄与するかを具体的に説明できる。 | 3. プラスチック 4. セラミックス 特集 リサイクル | 【知識・技能】 ・身の回りのプラスチック・セラミックスについてその製造法や資源の再利用について理解している。(定期考査) 【思考・判断・表現】 ・天然にある素材と人工的に作り出した素材が日常生活の中でどのように使われているかを考え、表現することができる。(発問評価) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・私たちの生活に役立っているプラスチック・セラミックスについて、どのような性質が製品として利用されているかを学び、さらによりよい生活のために改良すべき点はないか意欲的に学習しようとする。(授業態度) | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 3 学期 | 3章 生命の科学 2節 微生物とその利用 生活習慣病の原因や予防法について、具体的なデータや事例をもとに説明し、自分や家族の健康管理に活かす意識を持つ。 免疫の仕組みやワクチンの働きを実験や図解で理解し、感染症予防の重要性を具体的に説明できる。 | 1. いろいろな微生物 特集 いろいろな微生物のなかま 2. 微生物の発見 3. 食品への微生物の利用 4. 医療への微生物の利用 3. 生態系での微生物 | 【知識・技能】 ・DNAにおける塩基の相補性を理解するとともに、DNAの塩基配列によってつくられるたんぱく質のアミノ酸配列が決まることを理解している。(定期考査) 【思考・判断・表現】 ・眼で受容した光の情報が脳で処理されることによって視覚が生じることについて、錯視の実験を通して説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・(授業態度) ・人の生命現象と人間生活の関わりについて関心を持ち、意欲的に学習しようとする。(授業態度) | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |

年間授業計画 様式例

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 H組～ E組

使用教科書：（なし）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能など、及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|--|
| 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身につけるようにする。 | 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間考えたことを他者に伝える力を養う。 | 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|----------|
| | | | | | | | |
| 1 学 期 | A 体づくり運動 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする | ・柔軟体操 ・基礎体力作り（短距離走、ボール投げ、中距離走） ・農芸体操（体操の体得） | 【知識・技能】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 【思考・判断・表現】 自己の狙いに応じた運動に計画を立案したり、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | B 柔道 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする | ・柔道（受け身の習得） | 【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | C 卓球 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする | ・卓球（技能の習得と試合） | 【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | D 水泳 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする | ・水泳（クロール・平泳ぎの技術習得とタイム測定） | 【知識・技能】 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作で泳ぐことができる。 【思考・判断・表現】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | E 体育理論 【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主 定期考査 | ・講義 ・レポート作成 | 【知識・技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えていく。 【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 2 |

| | | | | | | | |
|-------------|--|---|--|---|---|---|---|
| 2 学 期 | <p>A 水泳</p> <p>【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的・計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする</p> | <p>水泳（クロール・平泳ぎの技術習得） 水泳（クロール・平泳ぎのタイム測定）</p> | <p>【知識・技能】 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作で泳ぐことができる。 【思考・判断・表現】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。</p> | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | <p>B 柔道</p> <p>【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的・計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする</p> | <p>・柔道（受け身・固め技の習得）</p> | <p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。</p> | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | <p>C ダンス</p> <p>【知識及び技能】 技術の名称や行い方、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的・計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする</p> | <p>・基礎運動 ・リズム体操 ・ダンスの創作 ・発表</p> | <p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。</p> | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | <p>D ソフトボール</p> <p>【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的・計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする</p> | <p>・ソフトボール（技能の習得と試合）</p> | <p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。</p> | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | <p>E バドミントン</p> <p>【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的・計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする</p> | <p>・バドミントン（技能の習得と試合）</p> | <p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。</p> | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | <p>F 体育理論</p> <p>【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主 定期考査</p> | <p>・講義 ・レポート作成</p> | <p>【知識・技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えて いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 2 |

| | | | | | | | |
|-------------|---|--|---|---|---|---|----|
| 3 学 期 | A 陸上 【知識及び技能】 自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、ルールやマナーを大切に、互いに高めあうことができるようにする | ・持久走（ワークシート作り、記録測定） | 【知識・技能】 自己の体力に適したペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な課題解決に向けて取り組み、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 ルールやマナーを大切に、互いに高めあうことができ、運動に主体的に取り組もうとした。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | B バスケットボール・サッカー 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的・計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする | ・バスケットボール（技能の習得と試合） ・サッカー（技能の習得と試合） | 【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | C 体育理論 【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主 | ・講義 ・レポート作成 | 【知識・技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 2 |
| | | | | | | | 合計 |
| | 定期考査 | | | | | | 70 |

年間授業計画 様式例

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 H組～ E組

使用教科書：（現代高等保健体育）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能など、及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|--|--|
| 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。 | 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 | 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|---|----------------|---|---|---|---|----------|
| 1 学期 A 現代社会と健康 【知識及び技能】 国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方に基づいて現代社会の様々な健康課題について理解し、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会の様々な健康課題に関して理解させるとともに、その解決に向けた学習活動に、主体的に取り組ませる。 | ・健康の考え方 | 【知識・技能】 国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方に基づいて現代社会の様々な健康課題について理解し、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会の様々な健康課題に関して理解させるとともに、その解決に向けた学習活動に、主体的に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | ・現代の感染症とその予防 | | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | ・生活習慣病などの予防と回復 | | ○ | ○ | ○ | 4 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 2 学期 A 現代社会と健康 【知識及び技能】 国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方に基づいて現代社会の様々な健康課題について理解し、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会の様々な健康課題に関して理解させるとともに、その解決に向けた学習活動に、主体的に取り組ませる。 | ・生活習慣病などの予防と回復 | 【知識・技能】 国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方に基づいて現代社会の様々な健康課題について理解し、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会の様々な健康課題に関して理解させるとともに、その解決に向けた学習活動に、主体的に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | ・喫煙・飲酒・薬物乱用と健康 | | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | ・精神疾患の予防と回復 | | ○ | ○ | ○ | 5 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 3 学期 【知識及び技能】 国民の健康課題について、各種の指標や疾病構造の変化を通して理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会の様々な健康課題について理解し、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会の様々な健康課題に関して理解させるとともに、その解決に向けた学習活動に、主体的に取り組ませる。 | ・調べ学習 ・発表 | 【知識・技能】 国民の健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 現代社会の様々な健康課題について理解し、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動に、主体的に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| | | | | | | 35 |

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科：芸術 科目：書道 I 単位数： 単位 2
 対象学年組：第 1 学年 AH 組～ BE 組
 使用教科書：『書道 I』 東京書籍

教科 芸術 の目標：
 【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質を理解すると共に、意図に基づいて表現するための知識や技術を身に付けるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育み、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造する態度を養い、豊かな情操を培う。

| 【知識及び技能】 | | 【思考力、判断力、表現力等】 | | 【学びに向かう力、人間性等】 | |
|---|---|---|--|----------------|--|
| 小中学校国語科書写を基礎として書写能力の向上を図り、鑑賞能力や伝統文化への理解を深める。更に書表現の方法や形式、多様性について理解し、基礎的な技能を身に付けるようにする。 | 書に親しみ、幅広い学習活動を通して、自ら思考・判断することで、書伝統と文化の意味や価値を考え、書美の味わいを感じるようにする。 | 書に親しみ、幅広い学習活動を通して、主体的・継続的に学びに向かう姿勢を養い、生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。 | | | |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 表現 | | | 評価規準 | 知 | 思 | 感 | 記 時 数 |
|---|--|----|---|---|--|---|---|---|-------------|
| | | 淡 | 快 | 仮 | | | | | |
| 単元…概説と導入 【知識及び技能】 用具用材の使用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 適切な執筆法や用具を選択している。 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。 | ・中学校書写の復習と確認。 ・用具・用材の使用法。 ・漢字の成立と変遷。 ・古典の学習法と拓本。 | ○ | ○ | ○ | 【知識及び技能】 ・用具用材の名称と使い方を理解している。 ・筆を正しい執筆法で持っている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・紙のサイズを判断して紙を折り、適切な大きさで書くことが出来る。 ・文字を整えて書けるように工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・用具を正しく準備している。 ・教科書やノートにメモをとるようにしている。 | ○ | ○ | ○ | 3 |
| 単元…漢字の書・楷書の導入 【知識及び技能】 臨書の意義を理解し、実践できる。 【思考力、判断力、表現力等】 落款を正しく理解し書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 臨書をもとに氏名の筆書きにも挑戦してみる。 | ・古典中にみられる基本点画を練習。 ・形臨、背臨、意臨。 ・範書を参考に氏名を書く。 | ○ | ○ | ○ | 【知識及び技能】 ・基本点画（起筆）を正しく書いている。 ・基本点画（取筆）を正しく書いている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・紙のサイズを判断して紙を折り、適切な大きさで書くことが出来る。 ・形臨、背臨、意臨を区別している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・用具を正しく準備している。 ・教科書やノートにメモをとるようにしている。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
| 単元…楷書・『九成宮醜泉銘』 【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。 | ・基本点画の確認と復習。 ・半紙の折り方など（2、4、6字書き用）。 ・『九成宮醜泉銘』と背勢。 ・欧陽詢と『補江総白狼伝』。 | ○ | ○ | ○ | 【知識及び技能】 ・基本点画（起筆）を正しく書いている。 ・基本点画（取筆）を正しく書いている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・背勢を理解し、適切に表現している。 ・分間白布を理解し、適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・用具を正しく準備している。 ・古典の背景を理解しようとしている（教科書やノートにメモをとるようにしている。） | ○ | ○ | ○ | 4 |
| 単元…楷書・『孔子廟堂碑』 【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。 | ・基本点画の確認と復習。 ・半紙の折り方など（1/6分割法）。 ・『孔子廟堂碑』と向勢。 ・虞世南と『天下の孤本』（拓本）。 | ○ | ○ | ○ | 【知識及び技能】 ・基本点画（起筆）を正しく書いている。 ・基本点画（取筆）を正しく書いている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・向勢を理解し、適切に表現している。 ・文字の左右の大きさの違いや粗密を理解し、適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・用具を正しく準備している。 ・古典の背景を理解しようとしている（教科書やノートにメモをとるようにしている。） | ○ | ○ | ○ | 4 |
| 単元…楷書・『雁塔聖教序』 【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。 | ・基本点画の確認と復習。 ・半紙の折り方など（2、4、6字書き用）。 ・『雁塔聖教序』と倚仰法。 ・褚遂良と玄奘三蔵法師。 | ○ | ○ | ○ | 【知識及び技能】 ・倚仰法の起筆を書き分けられている。 ・抑揚のある軽快な筆使いができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・麻絲と露鋒が区別できる。 ・余白の美を表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実技のための準備をして授業に臨んでいる。 ・古典の背景を理解しようとしている（教科書やノートにメモをとるようにしている。） | ○ | ○ | ○ | 4 |
| 単元…楷書・『自書告身』 【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。 | ・基本点画の確認と復習。 ・半紙の折り方など（2、4、6字書き用）。 ・『自書告身』の顔法と明朝体。 ・顔真卿と安史の乱。 ・明の大船団派遣と世界四大發明。 ・マルコポーロのみた「万安橋記」 | ○ | ○ | ○ | 【知識及び技能】 ・筆頭燕尾の「右払い」を正しく書ける。 ・筆頭燕尾の「右払い」を正しく書ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・横画を細く縦画が太い力強い表現をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・揚の差が激しい文字をバランス良く半紙に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・用具を正しく準備している。 ・古典の背景を理解しようとしている（教科書やノートにメモをとるようにしている。） | ○ | ○ | ○ | 4 |
| 単元…楷書・『半嶽造像記』 【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。 | ・基本点画の確認と復習。 ・半紙の折り方など（2、4、6字書き用）。 ・『半嶽造像記』と方勢。 【思考力、判断力、表現力等】 ・方勢と円勢。 ・側筆と直筆。 【学びに向かう力、人間性等】 ・『鄭義下碑』と円勢。 | ○ | ○ | ○ | 【知識及び技能】 ・方筆を理解し、直線的で右上がりに書ける。 ・方筆を理解し、多彩な点画を書ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・方勢と円勢の違いを理解し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・用具を正しく準備している。 ・古典の背景を理解しようとしている（教科書やノートにメモをとるようにしている。） | ○ | ○ | ○ | 4 |
| 単元…楷書・『蘭寺心経』 【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。 | ・基本点画の確認と復習。 ・半紙の折り方など（行立て用）。 ・細字の執筆法。 ・細字を書く際の墨の工夫。 ・常用漢字、旧字体、書写体、異字体など。 | ○ | ○ | ○ | 【知識及び技能】 ・小筆の執筆法を理解し、正確に基本点画（起筆、取筆など）を書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・均等に文字を行に配置したり、文字の大きさを揃えるための工夫や準備をし、正確な表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・小筆の正しい使い、洗い方、保存法を実践している。 ・細字を書く上での適切な紙の準備をしている。 | ○ | ○ | ○ | 4 |

| | | | | | | | |
|---|--|---|---|---|---|---|---|
| <p>単元…漢字の書、行書への導入</p> <p>【知識及び技能】 行書の成り立ちを理解し、古典を正確に臨書することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 行書の特徴を理解して、判読し正確に表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 行書を書くための用具用材を準備し、適切な速度と正確性を保って書くこととしている。</p> | <p>・行書の基本点画練習。 ・半紙2文字書きによる古典臨書。 ・範書を参考に 行書の氏名練習。</p> | ○ | ○ | <p>【知識及び技能】 ・行書の特徴を理解している。 ・点画を連続させて書いたり、曲線的に書くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・筆順が変わることを理解している。 ・点画が変化したり、省略されたりすることを理解している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・文字の意味を理解して書こうとしている。 ・墨継ぎの回数や抑揚を守って書こうとしている。</p> | ○ | ○ | 4 |
| <p>単元…行書・蘭亭序</p> <p>【知識及び技能】 行書の成り立ちを理解し、古典を正確に臨書することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 行書の特徴を理解して、判読し正確に表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 行書を書くための用具用材を準備し、適切な速度と正確性を保って書くことで全臨する。</p> | <p>・行書の基本点画練習。 ・『蘭亭序』の全臨。 ・半紙6文字書きでの全臨。 ・補助教材の使用（拡大手本蘭亭序）</p> | ○ | ○ | <p>【知識及び技能】 ・行書で半紙に6文字書きができる。 ・点画を連続させて書いたり、曲線的に書くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・筆順が変わることを理解している。 ・点画が変化したり、省略されたりすることを理解している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・文字の意味を理解して書こうとしている。 ・墨継ぎの回数や抑揚を守って書こうとしている。</p> | ○ | ○ | 4 |
| <p>単元…行書・争坐位文稿</p> <p>【知識及び技能】 行書の成り立ちを理解し、古典を正確に臨書することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 行書の特徴を理解して、判読し正確に表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 行書を書くための用具用材を準備し、適切な速度と正確性を保って書くこととしている。</p> | <p>・行書の基本点画練習。 ・半紙2文字書きでの形臨。 ・『蘭亭序』と『争坐位文稿』の比較。 ・顔真卿の生涯と明朝体。</p> | ○ | ○ | <p>【知識及び技能】 ・筆圧の変化で線に抑揚を付けることができる。 ・空気をゆったりと空けて曲線を描くように運筆できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・向勢を理解して表現をできる。 ・藏鋒を理解している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・『蘭亭序』と比較して表現しようとしている。 ・田字体を理解して読もうとしている。</p> | ○ | ○ | 4 |
| <p>単元…行書・風信帖</p> <p>【知識及び技能】 行書の成り立ちを理解し、古典を正確に臨書することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 行書の特徴を理解して、判読し正確に表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 行書を書くための用具用材を準備し、適切な速度と正確性を保って書くこととしている。</p> | <p>・行書の基本点画練習。 ・半紙6文字書きでの形臨。 ・三筆と三蹟について。</p> | ○ | ○ | <p>【知識及び技能】 ・線の太細の変化を表現できる。 ・文字と文字を連続させて書くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・字形と筆順により、点画が省略されることを理解している。 ・文字の重心が低く安定して表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・文字の意味を理解して書こうとしている。 ・墨継ぎの回数や抑揚を守って書こうとしている。</p> | ○ | ○ | 4 |

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

芸術 科目 音楽 I

教科：芸術

科目：音楽 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 H 組～ E 組

使用教科書：（ MOUSA 1 ）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質を理解すると共に、意図に基づいて表現するための知識や技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育み、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造する態度を養い、豊かな情懷を培う。

科目 音楽 I

の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|-------------------------------|--------------------------|---------------------------------|
| 義務教育の知識を再確認し、表現するための技術を身につける。 | 音楽を楽しみ、自分の世界を表現できるようにする。 | 色々な生徒の発表を聴くことによって、多様性を音楽を通して学ぶ。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 表現 | | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 |
|---|--|-----|---|---|----|---|---|---|---|------------------|
| | | 絵・彫 | デ | 映 | 鑑賞 | | | | | |
| 1 学期 1) 楽典 2) 聴音 3) リズム 4) 歌唱 5) 琴 | 1) 楽典：ト音 ヘ音 2) 聴音 ・ド～ソ ・4分の4拍子 ・4分の3拍子を使用して音の聞き取りを楽譜にする 3) リズム；音符、休符等を使用し、12, 4, 3, 2拍子の習得 4) 歌唱・校歌 5) 習得 | ○ | ○ | ○ | ○ | 1) 楽典→ノート点検 2) 聴音→ノート点検 基本的なことが理解できているか。 3) リズム→実技テスト 棒の長さや向き、書き方、拍子の表し方等、基本が理解できているか。 4) 歌唱→実技テスト 5) 琴→実技テスト 自分の持つ力を発揮できたか。 | ○ | ○ | ○ | 24 |
| 2 学期 1) 楽典 2) 聴音 3) リズム 4) 歌唱 5) ギター | 1) 楽典：音楽上必要な諸記号の説明と理解 2) 聴音 ・ド～ソ ・4分の2拍子 ・4分の5拍子を使用して音の聞き取りを楽譜にする 3) リズム；音符、タイ等を使用し、12, 4, 3, 2拍子の習得 4) 歌唱：混声三部合唱 5) 習得 | ○ | ○ | ○ | ○ | 1) 楽典→ノート点検 2) 聴音→ノート点検 基本的なことが理解できているか。 3) リズム→実技テスト 棒の長さや向き、書き方、拍子の表し方等、基本が理解できているか。 4) 歌唱→実技テスト 5) ギター→実技テスト 自分の持つ力を発揮できたか。 | ○ | ○ | ○ | 26 |
| 3 学期 1) 楽典 2) 聴音 3) リズム 4) 歌唱 5) ピアノ | 1) 楽典：3和音・コード 2) 聴音：8分の6拍子 8分の3拍子 3) リズム：シンコペーション 4) 歌唱：混声3部合唱 5) 習得 | ○ | ○ | ○ | ○ | 1) 楽典→ノート点検 2) 聴音→ノート点検 基本的なことが理解できているか。 3) リズム→実技テスト 棒の長さや向き、書き方、拍子の表し方等、基本が理解できているか。 4) 歌唱→実技テスト 5) ピアノ→実技テスト 自分の持つ力を発揮できたか。 | ○ | ○ | ○ | 20 |
| 合計 | | | | | | | | | | 70 |

高等学校 令和8年度 (1学年用) 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科: 外国語 科目: 英語コミュニケーションⅠ 単位数: 3 単位

対象学年組: 第1学年 H組～E組

使用教科書: (Amity English Communication I)

教科 外国語 の目標:

- 【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めることができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】目的や場面、状況などに応じて日常的、社会的な話題について外国語を理解したり表現しようとする事ができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】外国語の学習を通して海外の文化や人々の考えを理解し世界平和に貢献しようとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標:

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 基本的文法事項を理解し、その知識を利用して英文を理解することができる。 重要表現を理解し英文の中で意味をとらえることができる。 本文の内容を把握し簡単に説明できる。 | <ul style="list-style-type: none"> 授業中、又、授業の予習、復習時に、課題プリントやノートを利用して、授業で学んだことをもとに思考を深め自己表現につなげることができる。(課題やノート提出を期限内に行うことができる。) | <ul style="list-style-type: none"> 英語基礎力定着に不可欠な語彙力増強を目指して行う単語テストの勉強に主体的に取り組み、成果をあげることができる。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 | | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 |
|-------------|--|--|----|---|------------------|-----------------------|------|---|---|----|------------------|
| | | | 聞 | 読 | 話 〔 や 〕 | 話 〔 発 〕 書 | | | | | |
| 1 学 期 | The Beautiful Scenery be動詞・一般動詞の現在形 お気に入りの場所について英文を理解したりやり取りすることができる。 | 文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通した音声面の指導 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | My Best Friend be動詞・一般動詞過去形 日常生活についてやりとりしたり、大切にしている人についてまとめたり英文を理解することができる。 | 文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通した音声面の指導 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | 定期考査 | これまでの復習 | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| | Love for Dance 進行形・助動詞 多様なダンスに関する英文を読みダンスの力について伝えあったり絵や写真を見て感想を書いたり話すことができる。 | 文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通した音声面の指導 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 9 |
| | Endangered Species 不定詞 世界の絶滅危惧種についての英文を読み、好きな生き物について書いてたり伝えることができる。 | 文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通した音声面の指導 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | 定期考査 | これまでの復習 | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| 2 学 期 | The History of Chocolateなど 動名詞 チョコレートについて英文を読み健康について伝えあうことができる。 | 文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通した音声面の指導 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 17 |
| | Our School 比較 ユニークな高校についての英文を読み考察を深める。 | 文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通した音声面の指導 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 18 |
| | Serendipity 完了形など 身近にあることで偶然から生まれた発見についての英文を読んで理解し考察を深めることができる。 Sapeurs 受動態 サプールについての英文を読んで理解し服装や平和のシンボルについて考察することができる。 | 文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通した音声面の指導 定期考査は中間・期末を行う | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 18 |
| 3 学 期 | Special Makeup Effects 分詞 特殊メイクアップアーティスト、カズ・ヒロさんについて英文を通して理解を深め好きな俳優やテレビ番組、映画について伝えあうことができる。 | 文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通した音声面の指導 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 17 |
| | Clear Water 関係代名詞 水の大切さについての英文を通して環境問題について考え、また将来の夢などについて伝えあうことができる。 | 文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通した音声面の指導 定期考査は学年末考査を行う | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 18 |
| | | | | | | | | | | 合計 | 105 |

週ごとの指導計画(単元指導計画) 新様式例

高等学校 令和8年度(1学年用) 教科 人間と社会 科目 人間と社会

教科: 人間と社会

科目: 人間と社会

単位数: 1 単位

対象学年組: 第1学年 H組~ E組

使用教科書: (人間と社会 東京都教育委員会)

使用教材: ()

単元の目標:

【知識及び技能】 よりよい生き方を主体的に選択し、行動する力を育成

【思考力、判断力、表現力等】 自らの価値観を高める姿勢を育成

【学びに向かう力、人間性等】 社会に潜在する課題を発見する力を育成

単元名: ()

単元の評価規準:

| 【知識・技能】 | 【思考・判断・表現】 | 【主体的に学習に取り組む態度】 |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| よりよい生き方を主体的に選択し、行動する力を育成 | よりよい生き方を主体的に選択し、行動する力を育成 | よりよい生き方を主体的に選択し、行動する力を育成 |

実施予定: 4月1週 ~ 3月4週

| | 具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 知 | 思 | 態 | 評価の方法 | 実績(実施日) | | | | | |
|-----|---------------|-------------------------------------|---|---|---|---------------------|---------|----|----|----|---|---|
| | | | | | | | H組 | A組 | B組 | E組 | 組 | 組 |
| 第1時 | 自然と人間の関わり | 「自然と上手に関わって生きる」とは、どういうことなのか。 | ○ | ○ | ○ | 授業態度・ワークシート 出席点等 | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 第2時 | 学ぶことの意義 | なぜ、私たちは学ぶのか。 | ○ | ○ | ○ | 授業態度・ワークシート 出席点等 | | | | | | |
| 第3時 | 働くことの意義 | 働くことは、本当に社会に貢献することにつながっているのか。 | ○ | ○ | ○ | 授業態度・ワークシート 出席点等 | | | | | | |
| 第4時 | お金の意義 | お金はどのような意義をもつのか。 | ○ | ○ | ○ | 授業態度・ワークシート 出席点等 | | | | | | |
| 第5時 | グローバル化が進展する社会 | グローバル化が進展する社会の中で、何を大切にして生きていけばよいのか。 | ○ | ○ | ○ | 授業態度・ワークシート 出席点等 | | | | | | |
| 第6時 | 選択し、行動する | よりよい選択をし、行動するためには、どうすればよいのか。 | ○ | ○ | ○ | 授業態度・ワークシート 出席点等 | | | | | | |
| 第7時 | 科学技術と生命倫理 | 「科学技術の進歩」の中で、「いのちの問題」をどう考えればよいのか。 | ○ | ○ | ○ | 授業態度・ワークシート 出席点等 | | | | | | |